

1998年(平成10年)5月2日 土曜日

東京 岩手 秋田 青森

リサイクルプラザ始動

舞鶴市 不燃ごみも9分別に

ごみの減量・再資源化を進める「舞鶴市リサイクルプラザ」が一日、稼働を始めた。同時に、不燃ごみの六種九分別も市内全域で開始。プラザには、空き缶やプラスチック容器などが次々運び込まれ、リサイクルの拠点施設として本格的なスタートを切った。

同プラザは、ごみを細かく破碎・分別する工場棟、再生品の展示などで市民にリサイクルをPRするプラザ棟、処理した資源物を保管するストックヤード棟からなる。

この日は、市内の大浦半島の二十四自治会から六種九分別された不燃ごみが運び込まれ、コンベヤーで処理ラインに送られた。全国でも珍しいプラスチック

チック容器の手選別ラインでは、市内の授産施設で働く障害者十人が、流れてくるペットボトルや発泡スチロールを手ぎわ良く分別。キヤップがついたままだったリ、中の液体が残っているペットボトルも多く、プラザ側は「作業を効率良く進めるため、分別時の約束を守ってほしい」と話していた。



プラスチック容器を選別する作業員
(舞鶴市リサイクルプラザ)

4